

金 剛 石

八代市立第六中学校
学校だより
令和7年10月30日
文責：校長



校訓：「金剛石の光を発揮し、まわりを照らせ」

学校教育目標：「自分を磨き、仲間と繋がり、未来を考える生徒の育成 ～共に成長していく学校～」

爽やかな朝 ～充実の秋にさらなる成長を～

暑かった時期も終わり、ようやく朝夕は涼しくなってきました。朝、登校してくる生徒たちを出迎えていると正門横に植えられているキンモクセイの爽やかな香りが漂ってきます。少し前までは自転車で汗をかきながら登校していた生徒たちも清々しい表情で、「おはようございます！」と爽やかな挨拶をしてくれます。校舎からは合唱コンクールに向けて練習する爽やかな歌声が聞こえてきます。爽やかな朝の一時、さまざまな秋を感じています。学校は確かな学力を身に付けていくところでもあります。豊かな心・感性を育む大切な場所であることを実感します。

11月13日（木）の文化祭まで2週間となり、各学年で様々な取組を行っています。また、生徒会も執行部や各専門委員会で協力しながら常時活動やクラスマッチなどを行っています。給食では「収穫の秋」を感じる季節の食材を使ったメニューが生徒たちのおなかを満たしてくれます。知育、徳育、体育、食育など多面的な教育活動が日々行われ、仲間と一緒に多くのことを学んでいる六中生の姿があります。充実した秋を過ごし、生徒たちが一步步成長していってくれることを心から願っています。



「信用」と「信頼」 ～仲間と繋がりながら～

「読書の秋」と言いますが、ある本を読んでいると「信用」と「信頼」について書かれていました。端的に言うと「信用」は過去の実績や行動から判断される評価。学校生活で考えていくと、時間や約束を守ったり、係や当番などの役割を確実に果たしたり、テストで一定の成績を残したりすることで周囲から「信用」されるということでしょうか。社会生活で分かりやすく考えると、責任をもって仕事をしてくれるので再び仕事を任せられたり、確実に返してもらえると判断できるために銀行などの金融機関がお金を貸してくれたりするということだと思います。「信用」は過去の積み重ねですから、一つ一つコツコツと実績を残していく必要があります。是非、信用される人になって欲しいと思います。

「信頼」は意思や能力に対する未来への期待。自分なりの夢や目標を持ち、その実現や達成に向けて頑張ろうとしている。また、今回は間違ってしまったけれど、反省をして改善しようとしている。そんな人は周囲から応援してもらえます。前向きさを持ち、これから成長していくであろうと期待できる人は信頼されるということです。「信用される人」と同時に「信頼される人」になって欲しいと思います。

「信用される人」になるためには過去の実績・行動が必要ですので時間がかかります。まずは、「信頼される人」をめざして欲しいと思います。前向きさを持ち、過ちを改めていける人になることです。完璧な人はいません。人は分からないことがあったり、間違っただけをしたりします。そこからどうするかが大切です。お互いを認め合い、周囲と学び合いながら成長していければいいと思います。授業や学校生活の中で仲間と繋がりを、未来を切り拓く様々な力を身に付けていってください。



部活動の活躍 ～新人大会でも頑張っています～

10月後半に行われた大会でも六中生在頑張っています。

10月25・26日 令和7年度八代地区中学生新人バレーボール大会

<代表の部> 男子 準優勝 <1年生の部> 男子 準優勝

10月26日 熊本県中学生新人ソフトテニス大会（個人戦）

女子個人 優勝 諏佐純・早川叶夢ペア

